

信濃境駅は「自動券売機」と「簡易Suica改札機」を導入し、無人駅に移行します

問 産業課 商工観光係 ☎62-9342

信濃境駅は、昭和59年3月から富士見町とJR東日本長野支社との乗車券類簡易委託販売契約により簡易委託駅として、茅野広域シルバー人材センターへ信濃境駅管理業務委託を行ってまいりましたが、3月1日から「自動券売機」による取扱いを開始し、4月1日からICカード乗車券「Suica※」専用改札機の取扱いを開始することになります。（※Suicaは、鉄道、バス、お買い物などで利用できるJR東日本のICカード乗車券です。）
3月は一ヶ月間、シルバー人材センターにより取扱い等の説明をしますが、3月31日をもって信濃境管理業務委託は終了となるため、信濃境駅は4月1日から無人駅となります。

■自動券売機・簡易Suica改札機の導入後は、次のことにご注意ください。

- ・近距離きっぷ（乗車券のみ）が購入できる自動券売機（監視カメラ・通報装置付）が導入されます。
- ・自動券売機の乗車券発売範囲は100km圏内1660円区間までの販売となります。それ以上は車内検札または着駅精算をご利用ください。
- ・自動券売機の故障の場合、係員の到着までに時間を要しますのでご了承ください。緊急時については、連絡先が表示されますので指示に従ってください。
- ・ダイヤの乱れがある場合、短時間の遅れは自動放送により情報提供があります。また、事故等の場合は、茅野駅から直接、情報提供の放送がされます。（いずれの場合も現行と変わりません。）
- ・冬期間の待合室の暖房はありません。
- ・ホーム雪かきはJRが対応します。
- ・施設屋内外の清掃は、定期的にJRで対応します。
- ・防犯については、駅構内の防犯カメラにより監視しています。また、富士見町交番による昼間・夜間の巡回を行っています。境郵便局においては、町との「地域安心見守り事業に関する協定書」に基づき、信濃境駅の利用者の見守りについてもご配慮をいただいておりますので、お問合せ等でお立ち寄りいただくことが出来ます。

自動券売機でのきっぷの購入方法

- ①運賃表で目的の駅までの運賃を確認してください。
- ②確認した運賃を投入し、ボタンを押してください。切符受取口からお受取りください。
※紙幣は千円札のみ対応可能です。

自動券売機（イメージ画像）→

- *近距離きっぷ券売機は100km圏内1660円区間までの販売
- *故障の場合券詰まり・釣り銭不足は係員の到着まで時間を要します



↑運賃表（イメージ画像）

Suicaカード及び簡易Suica改札機について（4月1日より）

- ①Suica・Suica定期券の購入
富士見駅を含む中央本線有人駅（4月1日から）中央本線の主なみどりの窓口がある駅では、発売、払戻し、再発行が可能
※詳しくは最寄りのJR東日本の駅係員へお問合せください。
- ②Suicaカードの利用方法



読取部の拡大



タッチ&ゴー

- ・カードをかざすのではなく読取部に水平に「タッチ」が必要
- ・「ピッ」または「ピピッ」と音がしたら読取完了

利用の際の注意点・ポイント

- *あらかじめ十分な入金（チャージ）を忘れずに！
- *水平にしっかりタッチ&ゴー！
- *電波を妨げるものと一緒にタッチしない！
- *他の非接触式ICカードと一緒にパスケースに入れない！
- *シールなどを貼らない！

- ・「ピッ」は、Suica定期券の定期券部分の利用の場合
- ・「ピピッ」は、My Suica（記名式）、Suicaカード、Suica定期券の定期券区間外の利用の場合
- ・「ピー」は、定期券の期限切れや入金（チャージ）残額不足などの場合
- ・「ピピピピピ」は、うまくSuicaを読み取れない場合



「Suicaカード」

入金（チャージ）しておくことにより、改札機にタッチするだけで自動的に乗車区間の運賃を精算できる、どなたでも利用可能なICカードです。



「Suica定期券」

定期券の機能と、入金（チャージ）しておくことにより、定期券区間外でも改札機にタッチするだけで自動的に精算できる機能を持つ、便利なICカードです。